

件名:

EBS: 欧州環境インサイト ニュースメール 2010年8月号



EBS ニュースメール 11 号

「欧州環境インサイト」ニュースメール 11 号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって、何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光:スペイン】スペイン政府、太陽光買い取り価格を大幅引き下げへ
- 【太陽光:ドイツ】Q セルズ、第 2 四半期に黒字回復、リストラが奏功
- 【風力:EU】洋上風力、上半期に 333MW が稼働、過去最高のペース
- 【バイオ燃料:EU】EU のバイオ燃料利用、目標達成はほぼ不可能、調査機関まとめ
- 【低排出車両:ノルウェー】電気自動車のシंक、伊藤忠と戦略提携
- 【CCS:EU】「CCS の役割、欧州では限定的」、シंकタンクレポートが指摘
- 【リサイクル:EU】「資源リサイクル、改善スピード遅い」、欧州委報告書
- 【排出権:ポーランド】ポーランドが欧州委と暫定合意、新規発電所 15GW 分の排出権を無償獲得
- 【政策:英国】連立政権、エネルギー政策を発表、2018 年までに新原発稼働
- 【政策:世界】クリーンエネルギーへの補助金総額、世界で約 450 億ドル

----- ニュース -----

【太陽光:スペイン】スペイン政府、太陽光買い取り価格を大幅引き下げへ

スペイン政府の産業省は 8 月 1 日、固定価格買取制度 (FIT) における太陽光発電電力の買い取り価格を引き下げると発表した。スペインでの太陽光発電の大半を占める地上設置型で 45%、建物の屋根設置型ではサイズに応じ 5~25%削減する。実施時期は明らかでないが年内とみられる。太陽電池コストの低下を消費者が支払う小売価格に反映させるのが目的。ただし大幅な引き下げに対し産業界からは反対の声があがっている。スペインでは過去にも、FIT 制度の大幅な変更で市場規模が乱高下している。ニュースリリース: www.mityc.es/es-es/gabineteprensa/notasprensa/documents/npregimenespecial010810.pdf

【太陽光:ドイツ】Q セルズ、第 2 四半期に黒字回復、リストラが奏功

経営不振に陥っていたドイツの太陽電池大手 Q セルズに業績回復の兆しが見えてきた。同社が 8 月 12 日に発表した第 2 四半期決算によれば、3,250 万ユーロの純利益となり、四半期ベースで 2008 年末以来初めて黒字に転換した。同社は 2008 年まで生産量で世界最大手だったが、単価下落の影響などで 2009 年に業績が急速に悪化し、同 4 位に転落。ドイツの生産ラインを一部閉鎖しマレーシアの新工場に移管するなどの大幅なリストラを進めてきた。

ニュースリリース: www.q-cells.com/en/company/investor_relations/corporate_news/12082010_qcells_se_publishes_report_as_of_30_june_2010/index.html?pr=594

【風力:EU】洋上風力、上半期に 333MW が稼働、過去最高のペース

今年上半期に EU の洋上風力発電の新設容量 (送電網に接続) が 333MW に達したと、業界団体である欧州風力エネルギー協会 (EWEA) が 7 月 20 日に発表した。国別では英国が 188MW、デンマーク 115MW、ドイツ 30MW だった。これに加え、設置されたが送電網に未接続のタービンが合計 440MW ある。昨年の年間新設容量 577MW を上回るペースで、今年、洋上風力の新設容量が過去最高となるのは確

実な情勢だ。また、6月末時点で建設中のプロジェクトは合計で3,972MWに達する。

ニュースリリース：[www.ewea.org/index.php?id=60&no_cache=1&tx_ttnews\[tt_news\]=1865&tx_ttnews\[backPid\]=1&cHash=c0f89ca1cbe22ef183866d16d86d38a9](http://www.ewea.org/index.php?id=60&no_cache=1&tx_ttnews[tt_news]=1865&tx_ttnews[backPid]=1&cHash=c0f89ca1cbe22ef183866d16d86d38a9)

【バイオ燃料:EU】EUのバイオ燃料利用、目標達成はほぼ不可能、調査機関まとめ

再生可能エネルギーに関する調査機関のユーロオブザーバーはこのほど発表した報告書で、EUの運輸向けバイオ燃料消費量は今年約1,500万TOE(石油換算トン)となり、運輸燃料全体に占める比率は4.8%にとどまるとの見通しを明らかにした。EUはこの比率を2010年までに5.75%に高めるとの目標を掲げていたが、その達成はほぼ不可能となった。同時に発表した2009年のバイオ燃料消費量は1,209万TOEで前年比18.7%増加した。ただし増加率は2008年の30.3%から低下しており、EUにおけるバイオ燃料利用に鈍化傾向が見える。

報告書：www.eurobserv-er.org/pdf/baro198.pdf

【低排出車両:ノルウェー】電気自動車のシンク、伊藤忠と戦略提携

ノルウェーの電気自動車メーカーであるシンク・ホールディングスと伊藤忠商事は7月22日、戦略提携を結んだと発表した。伊藤忠はシンクに資本参加するほか、電気自動車の主要駆動部品(ドライブシステム)の日本を含むアジアでの販売権を獲得する。両社は既に電気自動車の実証プロジェクトなどで協力していたが、資本提携も含め協力を強化、拡大する。シンクは1991年に電気自動車の開発を開始した老舗で、2009年には電気自動車として初の型式認定を欧州で取得した。

ニュースリリース：www.thinkev.com/Press/Press-releases/ITochu-and-THINK-expand-partnership-in-Asia-with-accelerated-growth-plan-and-equity-investment

【CCS:EU】「CCSの役割、欧州では限定的」、シンクタンクレポートが指摘

石炭火力発電所から出る二酸化炭素を回収して地下に半永久的に貯留する炭素回収貯留(CCS)技術について、ドイツの研究機関が「欧州におけるCCSの役割は従来考えられていたより限定的」とする報告書を8月10日発表した。報告書はエネルギー・気候変動問題に取り組むブッペルタル研究所がドイツ連邦環境省の委託を受けてまとめた。それによれば、風力や太陽光など再生可能エネルギーの発電コストの低下が現在のペースで続けば、2020年には一部の再生可能エネルギー電力のコストはCCSよりも安くなり、CCSは競争力を失うとしている。ただし、中国、インド、米国などでは役割は大きいと予測している。

ニュースリリース：www.wupperinst.org/en/info/entwd/index.html?beitrag_id=1419&mzAdd=1419&cType=2&pid=&searchart=

【リサイクル:EU】「資源リサイクル、改善スピード遅い」、欧州委報告書

廃家電や廃車に含まれる材料の再利用など資源リサイクル効率の改善が想定より遅いと指摘する報告書を欧州委員会が8月10日発表した。エネルギー効率改善や再生可能エネルギー利用は進んでいるのに対し、資源の利用効率改善の分野では取り組みが遅れていると指摘、欧州連合(EU)や加盟各国に対し対策を強化するよう求めた。多くの加盟国において、EU法令が取り決め通り実施されていないことも理由の一つとしてあげた。

ニュースリリース：<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/10/1047&format=HTML>

【排出権:ポーランド】ポーランドが欧州委と暫定合意、新規発電所15GW分の排出権を無償獲得

ポーランド政府と欧州委員会は7月末、2013年以降にポーランドで稼働する新発電所15GW分について、欧州排出権取引制度(EU-ETS)での排出権を無償で割り当てることで暫定合意した。同制度では2013年以降、原則として発電所は排出権をオークションで購入する必要があるが、電力需要の増加が見込まれる旧東欧諸国には例外が認められる。合意により、ポーランドで2008年末時点で建設に着手していた発電所には排出権が無償で割り当てられることになる。EU加盟国代表の委員会による承認を経て、11月に最終決定する見通し。

ニュースリリース：

http://mos.gov.pl/artykul/7_aktualnosci/12503_bezplatne_uprawnienia_do_emisji_co2_dla_15_tys_mw_nowobudowanych_mocy_energetycznych.html

【政策:英国】連立政権、エネルギー政策を発表、2018年までに新原発稼働

英政府は7月27日、連立政権発足後初めて、包括的な気候変動・エネルギー政策を発表した。「炭素排出量を2050年までに80%削減する目標は野心的だが達成可能」とし、再生可能エネルギーの拡大を進める前労働党政権の政策を基本的に引き継いでいる。合わせて具体的に取り組むべき点として32の政策を列挙した。政権交代後、政策の方向性が不透明だった原発については、従来の見直し通り2018年までに新規原発の稼働を目指すことを明らかにした。

ニュースリリース：www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn10_85/pn10_85.aspx

【政策：世界】クリーンエネルギーへの補助金総額、世界で約450億ドル

太陽光、風力、バイオ燃料などクリーンエネルギー分野で世界の各国政府が昨年に出した補助金の総額は430～460億ドルとなった。同分野の情報提供会社ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンスが7月29日発表した。このうち米国が182億ドルと国別で最大、うち40%はバイオ燃料分野に振り向けられた。欧州で固定価格買取制度(FIT)関連に支出されたのは195億ドルだった。中国は20億ドルだったが、国営銀行による低金利ローンを含めると額は拡大するという。一方、石油、ガスなど化石燃料分野の補助金総額は2008年に5,570億ドルに達し、同社はクリーンエネルギーへの補助金は依然、化石燃料の10分の1以下に過ぎないと指摘している。

ニュースリリース：<http://bnef.com/free-publications/press-releases/>

◆◆「EBS 産業レポート」最新版発売予定◆◆-----

◎1「欧州の先進環境100社——最新市場動向と注目企業の横顔」約100頁 9月1日発売予定

主な内容(予定)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2009年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2009年実績と成長見通し
- 各国政府の補助制度の変更
- 分野別の成長予測
- 洋上風力、太陽熱、波力・潮力発電の動向

◎2「欧州自動車産業の最新動向2010-11年版——EUのエコカー戦略」約100頁 9月1日発売予定

主な内容(予定)

- エコカーに対するEUの開発支援戦略
- EUと主要国の自動車関連環境政策—CO2排出規制の概要など
- 欧州のエコカー市場の現状と見通し
- 欧州の大手乗用車メーカーのエコカー戦略
- 主要乗用車メーカーの過去1年間の展開と今後の見通し
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向
- 主要自動車メーカーの欧州・ロシアの生産施設立地

◎3「これだけは知っておきたいEUの環境規制2010-11年版」約100頁 9月15日発売予定

主な内容(予定)

- EU2020年戦略における環境・気候変動政策のビジョン
- 資源利用と経済成長を切り離す「資源効率」の考え方と規制の見通し
- 統合製品政策から持続可能な物質管理(SMM)への移行の動き
- エコデザイン指令～新ErP(エネルギー関連製品)指令
- WEEE/RoHS指令および廃車指令の概要と改正の動向
- REACHの基本と実施状況
- 2020年とそれ以降に向けた温室効果ガス排出削減の目標と議論の動向
- 再生可能エネルギー促進指令
- 建物エネルギー性能指令
- 今後のEU排出権取引の制度詳細 ほか

価格：PDF版 395ポンド／485ユーロ／53,000円(全税別)

(ハードコピー+PDF版: 480ポンド/590ユーロ/65,000円(全税別))

——>>8月31日までの事前購入予約・特別割引!!<<——

★★ディスカウント価格: PDF版 350ポンド/430ユーロ/47,000円(全税別)★★
(ハードコピー+PDF版: 450ポンド/550ユーロ/60,000円(全税別))

レポートの詳細に関しましてはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

◇◆当ニューズメール配信サービス希望者募集中!◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニューズメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。
news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2010 掲載記事の無断転載を禁じます。
